



第2回環境ホルモン学会講演会 -環境ホルモンの男性生殖能に対する影響-

要旨集のバックナンバーにつきましては、[バックナンバーのページ](#)を御覧下さい。

日時	1999年2月15日(月)	
会場	東京商工会議所 4F 東商ホール 東京都千代田区丸の内3-2-2 ホール着信専用電話 03-3283-7799	
主催	環境ホルモン学会 (正式名:日本内分泌攪乱化学物質学会)	
会費	会員:4,000円、非会員:8,000円	
定員	400名 (定員になり次第、締め切らせていただきます)	
プログラム	9:30~10:10	受付
	10:10~10:20	開会の挨拶 鈴木 継美 会長
	10:20~11:00	精子発生障害はどのようにして起こるのか -臨床的立場から- 熊本 悦明 先生(札幌医大名誉教授)
	11:00~11:30	実験動物における環境ホルモンの雄性生殖能に対する影響 井口 泰泉 先生(横浜市立大学理学部機能科学科)
	11:30~12:00	精巣に影響を与える残留化学物質 森田 昌敏 先生(国立環境研究所地域統括研究官)
	12:00~13:15	昼食
	13:15~13:45	日本人の精巣における精子形成状態の検討 森 千里 先生(京都大学大学院医学研究科生体構造医学講座) 精子形成状態と環境ホルモンなどの関係 香山 不二雄 先生(自治医科大学衛生学教室)
	13:45~15:15	日本人の精子・精液の状態について(講演 各10分) 押尾 茂 先生(帝京大学医学部泌尿器科) 末岡 浩 先生(慶應大学医学部産婦人科) 岩本 晃明 先生(聖マリアンナ医科大学泌尿器科学講座) 三浦 一陽 先生(東邦大学医学部泌尿器科) 伊藤 直樹 先生(札幌医科大学医学部泌尿器科) (フロアーからの参加者)
	15:15~15:55	パネルディスカッション(講演者全員) 精子数の減少を含めた環境ホルモンの男性生殖能に対する影響に関する日本での調査・研究の方向について(司会 森田昌敏 先生)
15:55~16:00	閉会の挨拶	
申込方法	参加申込書にご記入の上、環境ホルモン学会事務局に郵送又はファックスでお申し込み下さい。参加申込書の <a href="#">必要事項</a> がすべて記載されていれば、下記 e-mail アドレスでも受け付けております。また、環境ホルモン学会のホームページアドレスから開催要領を <a href="#">ダウンロード</a> してもご利用いただけます。会員でない方で、会員として申し込まれる場合は、事前に <a href="#">入会の手続き</a> が必要です。詳細は事務局にお問い合わせ下さい。	
申込及び問合せ先	環境ホルモン学会(正式名 日本内分泌攪乱化学物質学会)事務局 〒305-0053 茨城県つくば市小野川16-2 国立環境研究所地域G内 Tel:0298-50-2332 Fax:0298-50-2570	